

安全上の ご注意

必ずお守り下さい


本製品を安全にお使い頂くために、本製品をお使いになる前に必ず本紙をお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、お読みになった後は大切に保管して下さい。本紙ではお客様や他の人々への危険、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。


■表示内容を無視して誤った使い方をした際に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性・又は物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

お手入れ・アフターサービス

●ご使用後は湿った布で汚れを拭き取った後、乾いた布でよく拭いて保管して下さい。特に、海岸や温泉地域でのご使用後は、そのままの状態では錆や故障の原因となりますのでお気をつけ下さい。

●雨などで三脚が濡れてしまった場合は、乾いたきれいな布で水分をよく拭き取り、脚部は全段を伸ばしてよく乾かして下さい。脚パイプの奥まで濡れてしまった場合は、一度点検に出すことをお勧めします。お客様ご相談センターまでご連絡下さい。

●清掃の際は、シンナー等の薬品は使わないで下さい。

●修理または部品を紛失した場合は、販売店か、下記のお客様ご相談センターへ直接お問い合わせ下さい。本製品の性能部品は製造終了後5年を目安に保有しております。(この期間後であっても修理可能な場合もございます)

●製品や保証について等、疑問に思うことがあれば下記のお客様ご相談センターまでお問い合わせ下さい。




















(修理受付)

お客様ご相談センター





〒408-0205
山梨県北杜市明野町浅尾新田12
電話: 0551-25-6155
E-Mail: jpsupport@velbon.com

ベルボン製品を正しく安全にお使いいただくために

警告

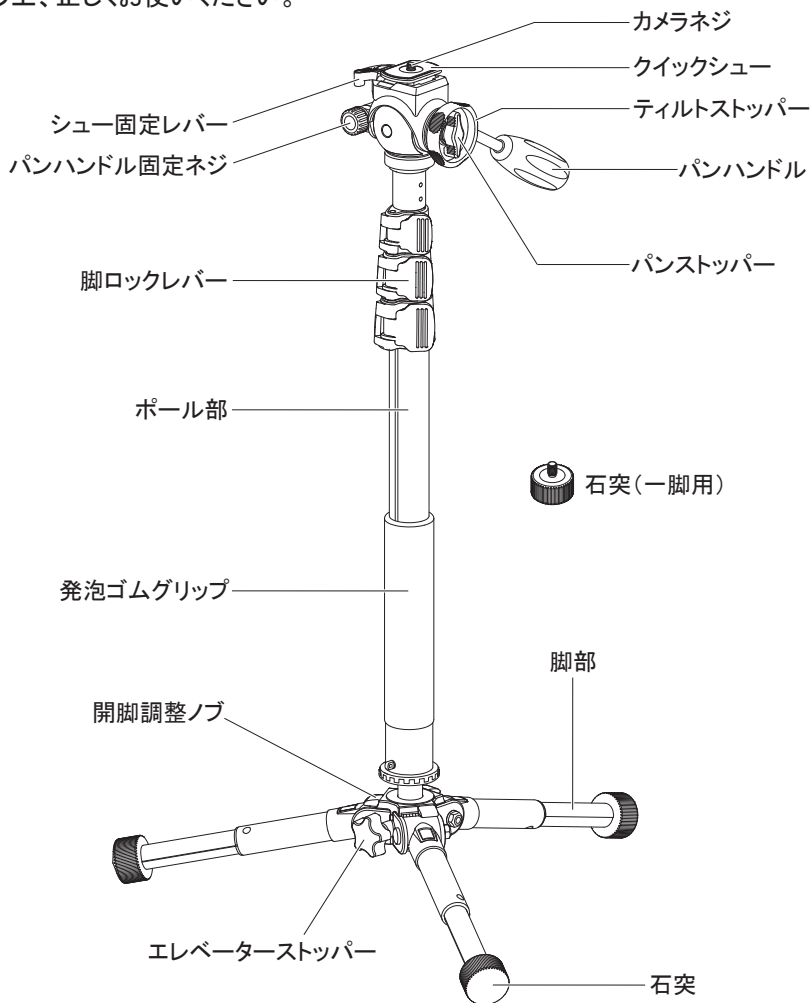
<p> 可変石突等のスパイクを備えた三脚や一脚を持ち運びする際は、安全のため必ずゴム石突に変換するか、ケースやレグボシット等を使いスパイクがむき出しにならないよう気をつけて下さい。死亡や大ケガの原因となります。電車内等で周囲に人が多い場合は、いっそうの注意が必要です。</p>	<p> 三脚には推奨積載質量が設定されています。必ずその範囲内のカメラを使用して下さい。特に、雲台がセットされた三脚自重の2倍を超えるカメラを使用すると、安定性が極端に悪くなりますのでご注意ください。三脚が転倒し死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またカメラブレの原因にもなります。</p> 
<p> カメラを装着したまま脚の伸縮調整や雲台の操作をする際は、必ずカメラを手で支えながらおこなって下さい。三脚やカメラが不意に動きカメラを破損したり、指や手を三脚にはさまけがをする恐れがあります。カメラ形状によってはバランズが取りにくい事もありますので、十分気をつけて下さい。</p> 	<p> 三脚を設置する際は、十分に注意しておこなって下さい。あやまって指や手をはさまとケガにつながります。また各ロック箇所やストッパーが緩んでいないか、再度確認して下さい。不意に三脚が縮んで転倒し、カメラが破損する恐れがあります。取扱説明書をよく読み、確かめながら操作して下さい。</p> 
<p> 三脚は撮影用の機材です。絶対に、三脚の上に腰掛けたり乗ったりしないで下さい。転倒し、死亡や大ケガにつながります。また一脚を杖がわりにして歩行補助の器具にするような行為は、不意に脚が縮み転倒するなどして大変危険です。思わぬ事故につながりますので、絶対におやめ下さい。 ※強度的にも大変危険です。</p> 	<p> ぐらついた台の上や、不整地・傾斜面等の不安定な場所で三脚を使用する場合は、十分に注意して下さい。特に、高位置での使用の場合、頭や足の上部に落下すると、死亡や大ケガにつながる恐れがあります。必ず三脚を設置する前に、設置場所や周囲の状況をよく確認して下さい。近くを人が行き来するような場所での使用も注意が必要です。</p> 
<p> 三脚や一脚は金属部品やカーボン繊維で構成されていますので、通電します。高压線等、電気が通っている物の近くでは使用を避けて下さい。また落雷の恐れがある場合は絶対に使用しないで下さい。そのような場所では撮影をやめ、すみやかに避難して下さい。</p> 	<p> 三脚や一脚を、小さなお子様の手の届く場所に設置・保管しないで下さい。あやまって指や手をはさんだり、三脚が倒れて死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またベルトやストラップのある製品については、お子様の首に巻きついたりしないよう、しっかり確実に管理して下さい。</p> 
<p> 三脚にカメラを取り付けたまま放置してその場を離れることや、三脚を場所取りのために利用することはお避け下さい。他の人や車の通行の妨げになったり、ぶつかってケガをさせてしまったり、倒れてカメラが破損する恐れがあります。</p> 	<p> 三脚の使用時は、3本の脚を十分に開いて下さい。脚の開きが不十分だと、不意に三脚が倒れケガや破損の原因となります。また不安定な状態での使用は、カメラブレの原因にもなります。</p> 

注意

<p> 三脚や一脚にカメラを装着したままでの移動はお避け下さい。予想以上の力が加わった場合、カメラが落下する恐れがあります。特に、カメラを装着したまま三脚や一脚を肩に担いで移動すると、カメラが視界に入らないので大変危険です。移動時は必ずカメラを外して下さい。</p> 	<p> 製品の使用温度範囲は、0℃～40℃となっています。この範囲を超えると高温下ではオイル漏れをおこしたり、低温下ではパン・テイルト動作が重くなったりして、十分な性能が発揮されない場合があります。高温多湿な場所や直射日光が当たる場所、自動車内等には決して製品を放置しないで下さい。</p> 
<p> 各部ストッパー・ネジやハンドル棒・固定レバー等は、必要なとき以外は確実に締めてご使用下さい。ネジやレバーが緩んでいると、三脚の転倒やカメラ破損の原因となります。また、緩んだ状態で移動すると、ネジ等を落として紛失する可能性があります。</p> 	<p> 冬場の撮影や寒冷地での使用においては、金属部分が凍結する恐れがありますので、素手では操作しないで下さい。「カメラマングローブ」等の撮影用手袋を用いることをお勧めします。</p> 
<p> 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補給はしないで下さい。十分な性能が発揮されなくなる場合があります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お客様ご相談センターまでご連絡下さい。</p> 	<p> 製品に水や砂が付いたまま使用を続けると、可動部から中に入り故障の原因となります。汚れてしまった場合は、きれいな布でよく拭き取って使用して下さい。脚パイプが濡れてしまった場合には、必ず拭いた後によく乾かして下さい。</p> 
<p> 三脚や一脚を壁に立て掛けたり、脚を閉じた細身な状態で立ておくこと、不意に倒れる恐れがあり危険です。できるだけ横にして(寝かせて)置いて下さい。</p> 	<p> 長期間使用しなかった場合や大切な撮影の前には、必ず事前に各部を点検してから使用して下さい。また高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。その際はお客様ご相談センターまでご連絡下さい。</p> 
<p> 製品の分解・改造等をしてしないで下さい。異常動作により、ケガや破損の原因となります。また分解・改造をした製品については、たとえご購入直後でも正規保証を受けられなくなりますので、その点もご注意ください。</p> 	<p> 雲台の取り外しが可能な製品の場合雲台を交換することができます。雲台(三脚)の全てのストッパーやハンドル棒をしっかり締め、雲台全体を反時計回りに回すと外れます。この時、雲台に顔を近づけているとハンドル棒などにぶつかり大変危険です。十分に注意して作業して下さい。</p> 

各部の名称

このたびはベルボン製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



⚠️ ポールポッドシリーズについて

脚部を広げることにより安定性は増しますが、あくまで一脚の補助的な役割ですので、ご使用中は必ずカメラをしっかりと保持してください。また、脚部を足で踏んで固定する等の行為は、故障の原因となりますのでおやめください。



撮影場所等の移動の際は、必ずカメラを外して携帯して下さい。カメラを取り付けたまま移動すると予想以上の力が加わり、カメラが落下する恐れがあります。

Pole Pod VIDEO	
雲台	FHD-43M
全高(EV含む)	1820mm
全高(EV含まず)	1806mm
エレベータースライド	14mm
最低高	623mm
縮長	705mm
脚径	ポール部=29/26/23/20mm、脚部=21/18.2mm
段数	ポール部=4段、脚部=2段
質量	1160g
推奨積載質量	1500g
クイックシュー	QB-32

※記載数値は平均的な値です。製品は組み合わせ部品で構成されておりますので、記載数値と若干異なる場合があります。
※製品改良のため、予告なしに仕様・デザイン・諸元等を変更することがありますのでご了承ください。

(修理受付)

お客様ご相談センター

〒408-0205

山梨県北杜市明野町浅尾新田12

電話: 0551-25-6155

E-Mail: jpsupport@velbon.com

※保証規定につきましては、保証書裏面をご確認下さい。

保証書

商品名 **Pole Pod VIDEO**

お買い上げ 平成 年 月 日
年月日 西暦 保証期間1年(お買い上げの日から)

ご購入店名

お客様 様

〒 - - - -

住所

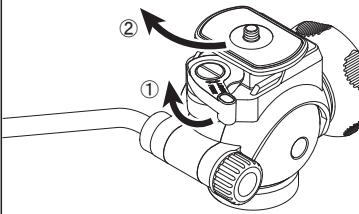
電話

印

本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間、当保証規定により保証サービスが適用されます。

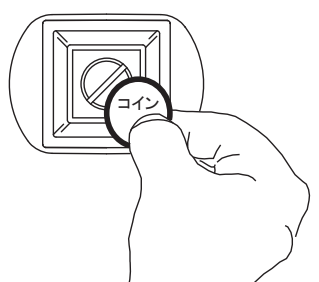
1-1.カメラの取り付け方

- ①シュー固定レバーを最後まで起こします。
- ②浮いたクイックシューを外します。



シュー固定レバーを最後まで起こすとクイックシューが浮き上がりますので、上図矢印方向へスライドさせながら、本体から外します。

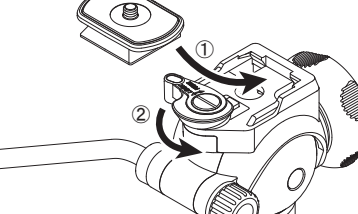
1-2.カメラの取り付け方



カメラやビデオカメラ底面のネジ穴と、クイックシューのカメラネジを慎重に合わせ、裏側からコイン等でしっかりと回して取り付けて下さい。

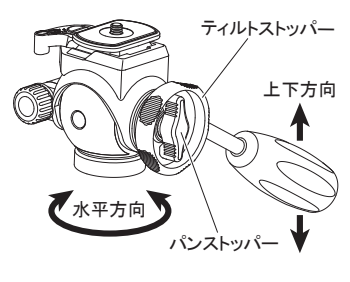
1-3.カメラの取り付け方

- ①クイックシューを取り付けます。
- ②レバーが戻ります。



シュー固定レバーを最後まで起こした状態で、クイックシューをレバー側から斜めに滑らせるように取り付け、下に押し付けるとレバーが戻ります(縦・横どちら向きでも取付可能)。後は手動でレバーをしっかりと押し込んで下さい。

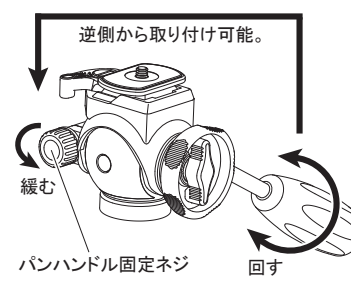
2.雲台の使い方



ティルトストッパーを回し緩めると、カメラの上下方向が変えられます。パンストッパーを回し緩めると、カメラを水平回転することができます。

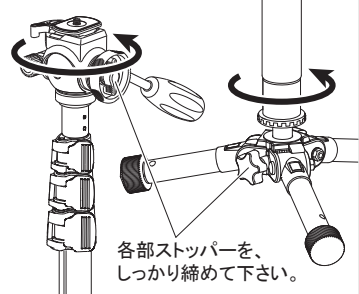
⚠ カメラを取り付ける際は、必ずカメラをしっかり保持しながら慎重におこなって下さい。クイックシューが装着部からはみ出したりせず、動かずに確実に固定されている事を確認して下さい。なお、クイックシュー取り付け時にシュー固定レバーは勢いよく戻ります。危険ですので手や顔を近づけないで下さい。

3.ハンドル位置の変更



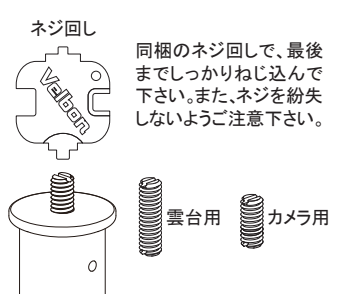
パンハンドル固定ネジをある程度緩めると、パンハンドルを回して取付角度を変えることができます。パンハンドル固定ネジを完全に緩めると、パンハンドルを取り外して逆側から取り付けることが可能です。

4.雲台及びポール部の分離



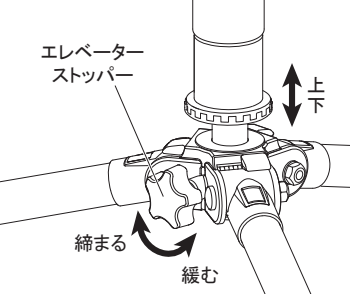
雲台やポール部を分離する場合は、各部ストッパー類をしっかりと締め、雲台またはポール部を反時計方向に回して外して下さい。雲台は他の別売雲台に交換可能です。
※雲台取付ネジ=UNC1/4(細ネジ)

5.雲台取付ネジについて



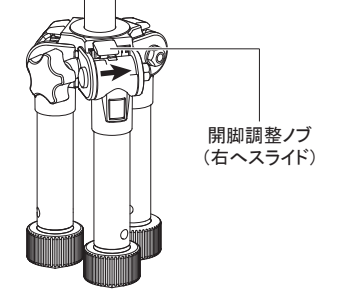
本製品には、雲台取付ネジが長短2種類あります(工場出荷時は長ネジになっています)。使用状況により適切な取り付けネジをお使い下さい。
※雲台を取り付ける場合=長ネジ
※カメラを直接取り付ける場合=短ネジ

6.エレベーターの昇降



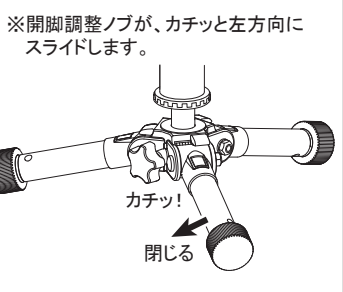
エレベーターストッパーを回して緩め、手動で高さを調整します。必要な高さでエレベーターストッパーを締め、固定して下さい。

7-1.開脚角度の調整



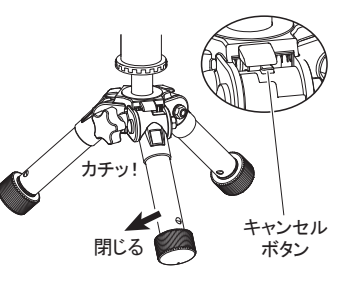
脚を閉じた状態で、開脚調整ノブをカチッと止まる所まで右方向へスライドさせます。その状態で脚をいっぱい開くと、ローポジションとなります。

7-2.開脚角度の調整



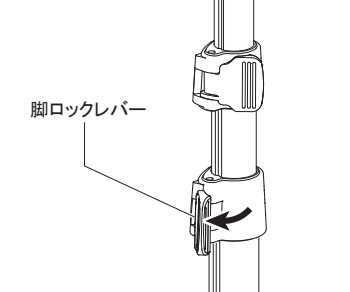
ローポジション(上図イラスト)にした脚をゆっくり閉じていくと、開脚調整ノブが自動的にカチッと左方向へスライドします。この位置がセミローポジションとなります。

7-3.開脚角度の調整



セミローポジション(上図イラスト)にした脚を閉じていくと、再び開脚調整ノブが自動的にカチッとスライドし、標準開脚に戻ります。なお誤ってノブをスライドさせてしまった時は、キャンセルボタンを押すことによって元の位置に戻すことができます。

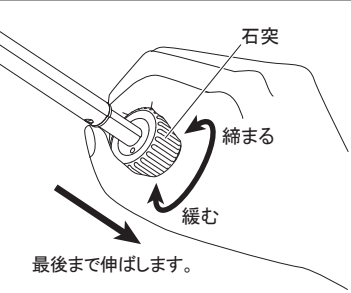
8.ポール部の伸縮・固定



ポール部の伸縮は、脚ロックレバーを起こして脚を引き出し、必要な長さで脚ロックレバーを倒して固定します。ポール部を全段引き伸ばさないで使用する場合は、できるだけ太い脚を使って撮影して下さい。

⚠ 脚ロックレバーの開閉時に、指をはさまないようご注意ください。

9.脚部の伸縮・固定



脚部を伸ばすには脚先端の石突を握り、緩む方向に「カック」とロックが外れるまで回します。脚を最後まで引き伸ばし、石突を締まる方向にきつめに回して脚部を固定します。締める際は逆の手順をおこなって下さい。

⚠ 石突を握る際は、泥等で手を汚さないようご注意ください。また石突と脚の間で指(手)を挟まないようご注意ください。

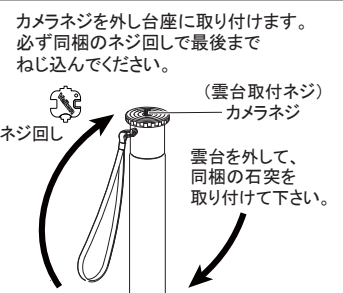
10.ミニ三脚として使う



雲台は、ストッパー類をしっかりと締め、ゆっくり回して確実に取り付けて下さい。

※雲台・ポール部・脚部を分離し、雲台を脚部に直接取り付けることで、ミニ三脚になります。卓上撮影等を楽しめます。
※ミニ三脚のローポジション機能については、本説明書の項目7「開脚角度の調整」を参考にしてください。
※パンハンドルの設置面に当たる場合は、パンハンドルの取付角度を調整して下さい。

11.一脚として使う



カメラネジを外し台座に取り付けます。必ず同梱のネジ回して最後までねじ込んでください。

ポール部を外して逆さにし、カメラネジ(=雲台取付ネジ)と石突を取り付けることで、一脚として使うことができます。事故防止・安定保持のため、上図のように同梱のハンドストラップを取り付け、手首を通してカメラを支えて下さい。
※一脚の台座に雲台を取り付ける場合は、長ネジをご使用下さい。カメラを直接取り付ける場合は、同梱の短ネジをご使用下さい。